

心あたたまる写真 心に染みる写真

植田正治生誕 110 年記念「植田正治と塩谷定好」開催のお知らせ

島根県立美術館では、植田正治生誕 110 年記念「植田正治と塩谷定好」を下記のとおり開催いたします。

山陰に生まれ、山陰で生涯を送り、山陰を舞台に写真を撮り続けて、国際的な評価を浴びた写真家・植田正治（1913－2000）と塩谷定好（1899－1988）。今年度は植田正治生誕 110 年記念の年となります。

写真をはじめたばかりの若き日の植田にとって、写真雑誌の月例題賞で全国 1 位になるなど目覚ましい活躍をする塩谷定好は、神様のような存在でした。山陰の海辺や村々、素朴な人々と子供たちの笑顔、こよなくこの地を愛したふたりの作家ならではの作品群は、見る者の心に染みていきます。掲載した 2 点の作品は、植田と塩谷、それぞれの娘を撮影したものです。日本の芸術写真を代表する塩谷とモダニズムを代表する植田。身近な被写体を愛情込めて映し出すふたりの巨匠の作品を、出雲神話の地を写した作品も含め約 100 点をご紹介します。

記

1. 開催概要

展覧会名 植田正治生誕 110 年記念「植田正治と塩谷定好」

会 期 2024 年 1 月 18 日（木）～4 月 15 日（月）

休 館 日 火曜日

料 金 一般 300 円、大学生 200 円、高校生以下無料

会 場 島根県立美術館 展示室 4

開館時間 【1・2 月】10：00～18：30 【3・4 月】10：00～日没後 30 分

（展示室への入場は閉館時刻の 30 分前まで）



植田正治《カコ》1949（昭和 24）年
島根県立美術館蔵



塩谷定好《児女と静物(其の二)》
1932（昭和 7）年 島根県立美術館蔵

2. 美術講座

講 師 薦谷典子（当館主任学芸員／本展企画者）
日 時 2024 年 2 月 24 日（土）14：00～（13：30 開場／約 90 分）
会 場 島根県立美術館 ホール(190 席／当日先着順)
演 題 「植田正治生誕 110 年記念 植田正治と塩谷定好」（仮）
聴講無料

3. みどころ

1. 植田正治も塩谷定好も、生涯山陰で暮らし、山陰を舞台に作品を制作しました。山や海、心あたかな人々など、私たちにとっても身近な風物が、実に豊かな作品となってその良さを再発見させてくれます。
2. 絵のような写真「芸術写真」が一世を風靡した大正末から昭和初期、その代表となる写真家が塩谷定好でした。塩谷に憧れ、写真の道を歩んだ植田正治も、この芸術写真から出発しています。その後、次世代の「モダン・フォトグラフィ」へと没頭していくこととなるのです。
同じモチーフを撮影しても、ふたりの共通しているところと、異なるところを比較して、お楽しみください。
3. ふたりの写真家が、出雲神話の地を撮影した写真を展覧します。植田正治の《出雲》《松江》は、特別出品いただいた作品で、初めての展覧となります。

4. 展覧会構成

第一章 家族の肖像



植田正治《妻のいる砂丘風景》
1950 年（昭和 25）年 島根県立美術館蔵
モデルは、植田の妻・紀枝（のりえ）



塩谷定好《肖像》1925（大正 14）年
島根県立美術館蔵
モデルは、塩谷の妻・貞子（さだこ）

植田正治も、塩谷定好も身近な生活のなかの心情を大切にしました。日々の暮らしで触れ合う家族や近所の人々、海や山などの自然を、こよなく愛して写真にしました。家族の肖像からは、その愛情が伝わってきます。
ふたりの属した「日本光画協会」は、この身近な生活感情を重視する作風を特色としていました。両者は後年までも、そうした作品を作り続けています。

第二章 海辺の光景



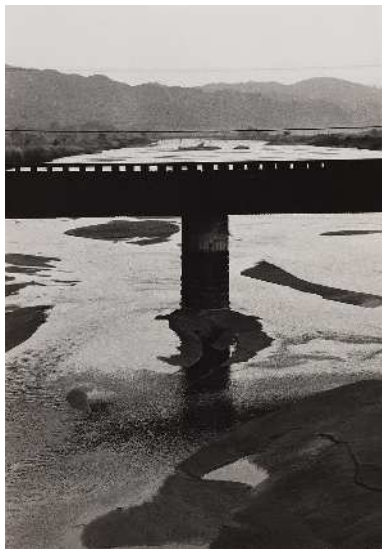
植田正治《メンズ・ビギのためのファッション写真》
1986（昭和 61）年頃 島根県立美術館蔵



塩谷定好《海辺の小景》1928（昭和 3）年
島根県立美術館蔵

空と海と砂浜。その広がり、花曇りの日に写すと、均質な淡いグレーの写真に仕上がります。砂浜は、遠近感を失わせます。遠くの人、小さく見えますが、その距離を感じさせないのです。その砂のマジックを使って、植田も塩谷も名作を生み出しています。美しい海辺の続く山陰。その自然の舞台を生かして数々の写真を映し出してきました。

第三章 出雲神話の地



植田正治《飯梨川》1965（昭和 40）年頃
島根県立美術館蔵



塩谷定好《海岸小景》1925（大正 14）年
島根県立美術館蔵
島根半島小波で撮影

出雲の地には、古代の神話が息づいています。山河に、地名の由来に、農耕生活の風習に、『出雲風土記』に語られた出雲神話の名残が残るこの地を、二人の写真家は映し出しています。とりわけ、植田正治は、出雲をライフワークと考え、くまなく巡っていきました。今回、特別出品として、植田正治の《出雲》《松江》を展観します。

※別途、民間の配信サービスを利用し、情報発信する予定です。